

謹賀新年！皆さまはどんなお正月でしたか。私達家族はそれぞれの住む場所から南の島で集合し、解散するという大がかりな企画でしたが、無事皆で楽しいお正月を過ごすことができました。おせちもお屠蘇ありませんでしたが何より家族の健康が一番です!!今年は2日から診療開始。どうぞ宜しくお願いします。

院長 池澤滋

謹賀新年



1月

- ★クリニック予約
 - ★クリニックホームページ
 - ★いけざわ beauty(インスタ)
 - ★クリニック Instagram
- こちらから → →



感染症情報 11/27~12/24	前回	今回
アデノウイルス	103	75
溶連菌感染症	9	21
感染性胃腸炎	49	79
水痘(水ぼうそう)	3	2
手足口病	15	5
RSウイルス	0	4
突発性発疹	7	6
りんご病	0	0
ヘルパンギーナ	3	1
おたふく風邪	0	2
新型コロナ	2	4
インフルエンザA	191	185
インフルエンザB	0	9



実話

「おとなの言い間違え」
こどもの言い間違えて、すごく可愛いですよね。でも大人の言い間違えは、恥ずかしいです。

4コマまんが
作・絵
ちえこ&きみこ

小さな手にある可能性

「この子はおてんばさんですね」長女の3ヶ月検診の時、白髪の有名な小児科医にそういわれ驚いた。まだ「喃語」さえ出ていない小さな娘を一目見て性格がわかるというのか?!「適当なことを言ってる～」と思っていたが、それは全くもってその通りだった。3ヶ月を過ぎる頃「アーウー」とお兄ちゃんを相手によく喋り「たかいたかい」するともっとやれとばかりにケッケッケと高笑う。食べるのも飲むのも豪快でベビーベッドに見に行くたびに「さっきより大きくなっている・・・」と息を飲んだ。4ヶ月で7500g、遊びに来る友人たちは予想以上の大きさに皆びっくりした。1番驚いたのは6ヶ月で急につかまり立ちしたこと!ベビー服を着た赤ちゃんが堂々と二本足で仁王立ちしたのには昼下がりに、夢ではないかとお昼寝から目覚めた私は声も出ないほど驚いた。「喜び」というより「驚き」ばかりの長女の子育て。7ヶ月にもなるとお兄ちゃんの肩にかじりついたり、お兄ちゃんのおにぎりを横から掴み取りしたり、おてんばぶりは、あの白髪の小児科医のご名答であった。そんな、やっぱりいや完全なおてんば娘はオマセで3歳になると私が口紅をつけていたら「おくべち、ワタチもつけたいな」と勝手にメイク道具を荒らし、ちょっとしたスキにすごい顔になっていることも多かった。

あれから長い年月が経ち、やはり三子の魂100までなのか「お母さん、これくらい明るいにつけなよ!」「こうすると若いよ」などとメイク好きは顕在で、今では私のビューティーアドバイザーとなっている。

もう一つのはっきりと覚えているエピソード。それは27年も前、親戚一同が集まる法事の席で、一歳の娘が大泣きしたことがあった。その泣き声を聞いた親戚のピアニストが「良い声だ。ソプラノ歌手になるね!」それは赤ちゃんが泣いて困っている私たち夫婦に対する慰めで場を和ませたかったのか、本当にそう思って下さったのか・・・どちらにしても、今あのおてんば娘は東京でオペラを歌っている。

21年小児科外来を営む私たちも、小さな赤ちゃんを抱く時に「おっとりしてるな」「ヤンチャだな」「おませだな」と瞬時に思うことがある。どんな小さな手のひらにもすでに遺伝子に組み込まれたそれぞれの個性がもう存在している。どんなふうになくなっていくのか。子育てが終わった今、外来で出会う小さな患者さまのまだ見ぬ未来の姿を思う時、小児科という仕事の素晴らしさと価値を深く感じるのだ。

今はまだ天に向く小さなあんよがどうか幸せに向かって歩いていきますように!

文責 池澤千恵子

